



松阪地区広域消防組合

笹井次長と

特別企画第2 談

お話ししてきました!!!



【笹】「次長という職は、消防長の補佐をし、なおかつ組織全体を見ていかなければいけない重要なポストだと認識しています。ですので光栄ではあります。重責を担っていると感じています。毎日身の引き締まる思いで勤務させていただいてます。今までの歴代の次長を拝見していると、私

【広】「では今後の展望として、どういった松阪消防になっていけば良いと考えていますか？」

【笹】「私は、職員が明るく楽しく風通しの良い、職場環境づくりをしていきたいと思っています。また健康管理にも気をつけ、職員一人一人のモチベーションがあがることで、住民サービスの向上にも繋がると思っていますので、そういう方向へ進んでいけたらいいのでは、と思っています。」

【広】「組織全体を見ても若年層の割合が増えています。所属長を含め、各課の課長等の管理的立場の方々は、どのように部下を育成していくべきだと考えていますか？」

【笹】「若い職員は失敗を恐れず前向きに、仕事に取り組んでもらえればと思います。もし失敗しても、それを後世に伝えるという役割があります。それも大事なんではないでしょうか。そしてトツプダウンではなくボトムアップしていかなくては、新しい風は入ってきません。同じことの繰り返しでは進歩がない。どんどん新しいことにチャレンジして欲しいですね。」

【広】「松消協は結成して3年が過ぎましたが、当時の印象と、現在の印象を教えてください。」

【笹】「協議会」という組織は昭和の頃から知っています。昔の印象は、上司のワンマン指導で困っていた職員達の集まりで、個人攻撃が激しかった印象が強いです。しかし今の協議会は、松消協も含め、職場環境を改善するために、県や全国へ勉強をしいって、研究しています。とても素晴らしいことだと思います。現在も良い意見を挙げていただいていると思いますので、これからも多くの意見を聞いていただければいいな、と思っています。」

【広】「これから松阪消防と松消協の関係性は、どういった形が理想だと考えていますか？」

【笹】「松消協は、勉強や研修会にたくさん参加されており、とても横の繋がりが強いと感じています。持っている情報量が多いと思いますので、それを松阪消防に伝えていただくと、理想とする住民サービスを実現できるのではないかと思います。そういった点で、お互いに協力しあえればいいのか、と思っています。」

【広】「松消協としては、今後勉強会や研修等を、松阪消防と連携しやっていければと思っていますが、どのように思われますか？」

【笹】「職員の勉強になるのであれば、とてもいいことだと思います。知識や技術の向上に繋がっていくと思いますし、それだけでなく職員の職場環境もより良くなっていくと思いますので、ぜひやっていければいいと思います。」

【広】「何か松消協に求めることはありますか？」

【笹】「松阪消防の実情に合ったものでないとダメですが、様々なところから学んだ知識・技術、また多くの情報を、共有させてもらえたらいいなと思います。」

【広】「最後に松阪消防及び松消協の方にメッセージをお願いします。」

【笹】「松阪消防も松消協も方向性は同じです。松阪消防を良くしよう、発展させていこうという気持ちは同じです。ですのでこれからも協力しあっていかなければと感じています。また、全職員、同釜の飯を食べた仲間なので、上司・部下・同僚と様々なありますが、信頼関係を大切にしていきたいです。消防にはマンパワーが必要ですので、それを引き出すのは上司の責任です。しかし皆さんもぜひその事を認識して、日々の業務を頑張っていただければと思っています。」

【広】「ありがとうございました。」

【笹】「また気軽に次長室へ来てください。これらの松阪消防についてお話ししましょう。」

終始和やかな雰囲気の中取材は終わり、全ての質問に笑顔で答えてくださった次長に本当に感謝しています。

今回は少し具体的な質問もさせていただきました。次長の考え方や思っていること、様々なことを知ることができ、お話をさせていただくことこの重要性を改めて感じました。

前回は同様に、今回も一番に感じたのは、松阪消防も松消協も同じ方向を向いているということ。全ての活動は住民のため、職員のため、松阪消防のためです。相互に協力しあっていこうという姿勢は、皆が内に持つ共通した思いなのだ、改めて感じました。

これからも、多くの話を聞き、多くの意見を聞いていただき、より良い松阪消防を目指し、皆で頑張っていきたいと思います。

【新夜間勤務体制を実施してみよう】

新しい夜間勤務体制になり皆さんいかがお過ごしでしょうか？

昨年の勤務体制会議の内容を受け、新しい体制になりました。協議会としては、夜間の仮眠時間が長時間とやりやすいであろう意見を出させていたのですが、職員アンケートでは祝日勤務手当の一律案の意見が多かったようで、現在の結果となりました。ただ、こういった夜間勤務の在り方については全国でも色々な考え方があり様々な動きがあります。

まず今の松阪消防においては想像できませんが、『全員で寝る』といった形(厳密に言うと全員寝ているのは現場の職員のみで指令課の方は起きています。)があります。これは大体11時〜7時の間の最も肉体的負担の大きい時間にできるだけ多く就寝させる事で体調管理を行い、夜勤手当、時間外勤務手当の削減を行うものです。

また、先日協議会で勉強会を行った際に講師で来ていただいた福田よしお愛知県議会議員(元尾三消防本部次長)が所属されていた組織では「尾三消防組合消防職員の勤務時間等に関する規程」というものがあり、このような文言がありました。

○「所属長は(途中省)なお睡眠時間の指定に当たっては、できる限り連続して睡眠を与えなければならない。」○

この尾三消防本部は協議会が無い組織ですが、こういった体調管理についての考え方が規程にも反映しており、非常に面白いなと感じました。協議会がある組織では小田原消防本部が夜間勤務の在り方について措置要求を行い、それに対し改善しなければならぬ、といった勧告が出ています。

私たち消防職員は災害があればどのような状況であっても出場します。する事が当然です。しかし、この災害対応はより良い体調のもとに行われるべきであり、体調管理ができていければ住民サービスの向上にもつながると感じます。

この記事を書いている私は現在出向中で日勤者ばかりの組織にいますが、やはり感じる事は「風邪をひく人が少ない」といった事です。消防職員は体を鍛えてゴツクは見えるが、隔日勤務の夜勤で体に負担をかけているんだなあ、と感じました。夜勤体制を見直し体調管理をより良くする事は体調不良による職員の削減を減らし、住民サービスの向上にも繋がると考えられます。

各署で夜間体制を見直しているところもあるようですが、できれば規程等を見直し組織全体でよ



り良い夜間勤務体制を考えていきたいと思えます。



【協議】に行ってきましたっ！

先月4月17日に松阪地区広域消防組合消防職員協議会（以下、松消協）として、初めての「協議」に行ってきました。

Q：協議って何だろう？

と思われる方もおられるかもしれませんが、協議会は本来この「協議」を主体においた組織です。

「協議」とは、意見を出しあい話し合う事です。協議会は松阪消防という組織を良くするために話し合うというのが本来の活動なのです。

「えー、だったらわざわざ協議会なんてなくていいんじゃない」という意見をおっしゃられる方もおられるとは思いますが、この意見を出し合い、話し合うというのは、ただ自分の思っている事を話す、というものではありません。1つ1つの議題に対し、何が正しいのか、何が根拠なのか、ほかの消防組織や公務職場はどうしているのか、といった事を議論して、より良い答えを探すものなのです。協議会というのは、色々な事を勉強・研究し、より良い議論を行うための組織と言えるのです。

4月17日に協議した内容はいくつかありますが、主には

- ◇『特殊勤務手当の支給』
- ◇『大型免許費用の全額予算化』

◇今後は松阪消防の問題を改善していくため各所属での問題も含め協議をしていく事を協議してきました。

『特殊勤務手当の支給』『大型免許費用の全額予算化』については松消協結成から消防職員委員会を通じ意見書として提出しており、会員の皆様からも最も意見が多い内容でしたので、改めて要望書として意見を提出してきました。

また、「各所属での問題も含め協議をしていく事」については、各職場内での色々な問題を改善するためにはそれぞれの職場で話をさせていただきたい、とお

願いをしてきました。

三木消防長が就任されるまでは、協議会として話し合いをしていたたく事がままならなかったという事もあり、結成3年以上が経過しやっと消防職員協議会としての動きができるようになってきた状況です。

まだまだ行き届かない点はあるとは思いますが、1歩1歩皆で前に進んでいきましょう。



【消防職員委員会について】

今年もやってきました！消防職員委員会のシーズンです。

松消協の結成から、時間外勤務手当や職員の定数不足等いくつかの問題が解決されました。そのもつとも大きな力を発揮したのがこの消防職員委員会です。

消防職員委員会制度は消防職員の職場問題を解決するために消防組織法で定められたものです。非常に有意義なものであり、良いものであります。しかし、松消協結成以前はこの消防職員委員会の中で職員が自由に発言できない（しにくい）といった時期がありました。各種の担当や人員の問題等も消防職員委員会に出席する委員が「何が正しいのか？」といった事をわからないまま対応する事で、問題解決の場でありながらその機能が発揮できなかった、という実情が過去にはありました。

松消協結成からは消防職員委員会の会議の席上は「何が根拠なのか？」「他の消防本部どのような状況であるか？」といった根拠、情報にもとづいた議論が行われ、消防職員委員会が活発に機能するようになりました。

今年松消協としては大きく5項目を協議会としてプッシュしていく方針で進めています。

- ① 特殊勤務手当の支給
- ② 大型免許取得に対する費用の全額補助
- ③ 非番召集体制（1, 2, 3）の廃止
- ④ 救急隊の労務問題の改善
- ⑤ 整備業務の外部委託とそれに伴う整備係の見直し

①②③については松消協結成から意見書として提出している案件であります。④については救急件数の増加が著しい近年考え続ける事が必要とされるものであると思えます。

⑤については車両の整備については高度な専門性が必要とされる案件であり、近隣の消防本部でも整備担当部署を持っている消防本部はありません。時代の流れにあわせて変化を考えても良いのではないのでしょうか？

松消協としては以上の5点を協議会の意見として提出しますが、協議会結成から色々な方が勉強を行ない、会員の方が独自でよい意見を持たれている方もいます。そういった勉強熱心な方が他にも意見を出されるかもしれません。この消防職員委員会制度の良いところは、誰でも意見できる、というところです。勉強した事を形にするチャンスです。皆で勉強し意見を出し根拠、情報に基づき議論する事でより良い松阪消防

【メール配信テストについて】

皆さんいつもご協力ありがとうございます。

今回会員増に伴いまして、メール配信テストを実施したいと思えます。皆さんに最新の情報をお届けする、とても大切な協議会メールです。

「そんな学習会があるなんて知らなかった。」

「役員会に参加してみたいのに、いつどこでやっているの？」

など、全てメール配信にてお知らせしています。そのメールが、もしあなただけに届いていなかったら・・・怖いですね、恐ろしいですね。

ですので、きちんとメールが届くように、こちらの登録の確認、受け取る端末の設定等を今一度見直してみましよう。

色々とお手数をおかけしますが、ご協力の程よろしくお願致します。

☆日程☆

平成29年6月1日（木） 午後0時頃 配信予定

※その時間前後にメールが届かない場合は、何かしらの不具合があると思われる。各種設定を見る前に、info@msk-since2013.com

までメールをお送りください。再度確認し、ご返信させていただきます。ご連絡がない場合は、無事受信されていると認識させていただきますので、よろしくお願致します。



松消協
交通安全運動
永続宣言！



『確認は
しすぎる程が
丁度いい』

【広報部・メール担当からの連絡】

皆さん、いつもご協力ありがとうございます。4月のメールは、

- 「第45回全国消防職員研究集会」について【募集】
 - 第4回役員会議事録
 - 「福田県議会議員との座談会」について【募集】
 - 松阪消防の方々と協議してきました！
 - 第5回役員会開催について
- を、送らせていただきました。
- メールを受信していない、やメールアドレスが変わった等の場合は、広報部までご連絡ください。皆さんにきちんと情報をお送りできるよう、これからも努力して参ります。

【新年度広報部員募集】

新年度に変わるにあたり、松消協広報部員を募集します。仕事内容としては、

- ◇ 広報紙の作成
 - ◇ メール、ホームページの管理
 - ◇ チラシ等の作成
- です。ぜひ一緒に活動していきましょう。あなたの協力を、広報部が待っています！
- ※今までの活動については、ホームページをご覧ください。

<http://www.msk-since2013.com/>